

## 第55回全肥商連全国研修会での会長挨拶

一般社団法人全国肥料商連合会会長の山森章二でございます。

令和元年7月4日、5日の両日香川県高松市にて開催致します第55回全国研修会の開講に先立ちまして、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

令和元年に四国・中国地方各県の県部会との共催で行うこの全国研修会は、全肥商連が四国で初めて開催する記念すべき研修会です。開催にあたりましては、ご後援頂いております農林水産省様・香川県様始め、多くの方々から多大なるご協力を頂いております。

また、農林水産省中国四国農政局長大浦久宜様、香川県農政水産部長国分伸二様にはご来賓の方々を代表してご挨拶を賜る予定でございます。先ずもって本日ご参加下さった方々、ご協力くださった皆々様に心より感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。



全国研修会も第55回を迎えました。今回の総合テーマは、『四国のにぎわい～農業新時代に向けて!』とさせて頂いておりますが、これは二つのテーマをイメージしております。

第一のテーマは、昨年来大きく舵が切られた農政の新しい重点でありますスマート農業の推進です。スマート農業の時代になっても施肥の前に「土づくり」が基本となることは言うまでもございません。そこでスマート農業の基本となる新技術として、今年の3月にバージョンアップされた『全国デジタル土壌図』の最新版の活用と今後の開発の方向性を中心に、農研機構の高田裕介様にご講演頂きます。スマホやパソコンから圃場の土壌分類や特徴が分かり、施肥基準と連動させて適切な施肥設計ができる画期的なシステムの開発・普及を目指してまいります。対象の道・県がまだ3つに限られ開発途上ではありますが、今後カバーする範囲が全国に広がり内容も深化するにつれ肥料商の皆様にとっても大いに役立つものになると期待されますので基調講演をお願いした次第です。皆様にとってたいへん参考になるお話を頂けるものと思っております。



その上で、肥料に係るドローンなどの現状並びに今後の活用を皆様と一緒に考えて行きたいと思っております。この点に関しまして、無人ヘリコプターで培われた技術をもってドローンにも本格参加されたヤマハ発動機(株)の中村 克様に周辺の情報も含め最新情報をご披露頂くことになっております。

更には、住友化学(株)の今西欣也様より住友化学様が推進していらっしゃる「総合力による農業の取組」のご紹介を頂き、

今後の農業への取組全体に視野を広げて考えたいと思います。因みに、住友化学様は、皆様ご存知のとおり、愛媛県新居浜発祥の企業でいらっしゃいます。

第二のテーマは、『四国のにぎわい』です。昨年の静岡県での研修会で農業の現場・経営の場における『女子力』が如何に強力且つ重要であるかをたいへんな迫力をもってご披露頂きました。このテーマは一回で終わらせるにはもったいなく、継続して伸張させてゆくべき課題と考えます。そこで今回は、四国の香川・高知・徳島各県でご活躍されている尾池美和様、森田かおり様、三木みずほ様3人の女性経営者の方々にご登壇頂き、夫々たいへん特徴のある取り組みに付きご紹介頂きます。併せて四国の農業の一端に触れて頂ければと思っております。

二つのテーマの間には、四国でございますから、弘法大師空海お誕生の地として有名な真言宗善通寺派管長菅智 潤様からご講話を頂きます。演題は『お接待 - 四国遍路でもっとも大切な文化資源 -』です。どういうお話をして頂けるのか、私も楽しみにしています。

尚、本日の研修後の懇談会の席には、講師の方々のほか農水省の幹部の方々にもご参加頂きますので、この機会に意見交換を図って頂ければ幸甚です。また、余興として、本場徳島で三本指に入る連をお呼びして“阿波踊り”をご披露頂く予定ですので、お楽しみ頂ければ何よりです。更には、四国中国各県から夫々自慢の日本酒やリキュールなども持ち寄って頂いておりますので、皆様に回るように少しずつお楽しみください。

明日の二日目は、従来午前中に座学を入れておりましたが、今回は折角四国にお越し頂きましたので周辺の農業などをご視察頂きたく、座学は入れずに視察のみとさせて頂きましたので、ご理解賜りたいと思います。

改めまして皆様の奮ってのご参加に深く感謝を申し上げますとともに、この第55回全国研修会が皆様にとって実り多いものとなりますことを祈念してご挨拶にかえさせて頂きます。

(令和元年7月4日、一般社団法人 全国肥料商連合会会長 山森 章二)

